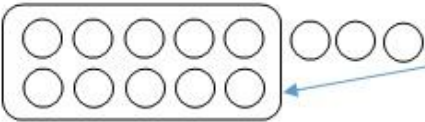


小4算数 1けたでわるわり算の筆算

対象学年	小4	教科	算数	難易度	★☆☆☆
単元	1けたでわるわり算の筆算				
課題	教科書p. 38を開け、絵を見ながら次の課題をときましょう。 (課題) 色紙が 72 まいあります。3 人で同じ数ずつ分けると、1 人分は何まいになりますか。 (式) (答え) この問題が少しむずかしいと思ったら、次の課題から順番にときましょう。 ステップ 1 色紙が 9 まいあります。3 人で同じ数ずつ分けると、1 人分は何まいになりますか。 ステップ 2 色紙が 15 まいあります。3 人で同じ数ずつ分けると、1 人分は何まいになりますか。 ステップ 3 色紙が 30 まいあります。3 人で同じ数ずつ分けると、1 人分は何まいになりますか。 ステップ 4 色紙が 36 まいあります。3 人で同じ数ずつ分けると、1 人分は何まいになりますか。 ステップ 4 までできたら、(問題)をといてみましょう。				
課題の説明	2 年生では九九を、3 年生では 1 けたのわり算を学習しました。かけ算（九九）とわり算の学習を使って、教科書p. 38の絵を見ながらとしましょう。 はじめの（課題）がむずかしいと思ったら、下のステップ 1 からといてみましょう。ステップのとちゅうで、できそうと思ったら、はじめの（課題）をといてみましょう。				
ヒント	ステップ 1 - 色紙（プリントでもよいです）を 9 まい用意して、3 つの場所を作り、同じ数ずつ分けてみよう。1 つの場所の色紙は何まいになったかな。 - この分け方を式にしてみよう。「同じ数ずつ分ける」ということは何算になるかな。3 年生の学習を思い出してみよう。 - わり算の答えは「商（しょう）」と言いました。商をもとめるには九九を使うとよかったね。 ステップ 2 - 色紙の数が多くなったけど、式にしてみよう。むずかしいときは、色紙を 15 まい用意して分けてみよう。 ステップ 3・4 - 九九でできないときには、10 のまとまりを作って分けてみよう。30 まいの色紙を用意するのは大変だから、ノートに○を 30 こ（36 こ）かいて、10 のまとまりをつくってかこんでみよう。10 のかたまりがつかれないときは、のこりを同じ数ずつ分けてみよう。  このように○をかいて、 10 のまとまりずつ 線でかこみましょう				

対象学年	小 4	教科	算数	難易度	★★☆☆
単元	1 けたでわるわり算の筆算				
課題	(1) 95まいの色紙を4人で同じ数ずつ分けると、1人分は何まいになって、何まいあまりますか。 (2) つぎの計算をしましょう。 ① $624 \div 3$ ② $846 \div 8$ ③ $468 \div 6$ (3) 4年生は215人います。4人ずつ長いすにすわったとき、全員すわるには、長いすが何きやくいりますか。				
課題の説明	わり算は1つ分をもとめるときにも使えるとてもべん利な計算です。分ける数がどんどん大きく(2けた、3けた)なっても、これまで(1けた)と同じように計算をしてもとめることができます。また、あまりが出たときも、あまりの大きさが分かります。あまりを考えることもできます。いろいろなパターンのわり算をといてみましょう。				
ヒント	数が大きくなったときには、十や百の位から計算をしていこう。 (2) ①は3けたになっているから百の位から計算できそうだね。 (2) ②は、十の位に気を付けよう。 (2) ③は、百の位に気を付けよう。 (3) は、3年生でも学習したことがありますね。あまりをどうするか考えよう。				

対象学年	小 4	教科	算数	難易度	★★★★☆																												
単元	1 けたでわるわり算の筆算																																
課題	わり算で学習したことを使うと、未来のカレンダーの日付が分かります。カレンダーには次のようなくきまり>があります。 <くきまり> 2020年1月1日は水曜日です。1週間は7日あるので、それぞれの日を1週間の日数7でわると、わり切れる日とあまりがでる日ができます。例えば、1日だったら、$1 \div 7 = 0$あまり1、14日だと、$14 \div 7 = 2$（あまり0）です。これを表にしてみると、カレンダーの日付はどの日も必ずあまりが0から6になります。あまりが6になると月曜日です。 2020年1月 <table><tr><td>月 (あまり6)</td><td>火 (あまり0)</td><td>水 (あまり1)</td><td>木 (あまり2)</td><td>金 (あまり3)</td><td>土 (あまり4)</td><td>日 (あまり5)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr><tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td></tr></table> 課題 カレンダーにくきまりがあることを知っただいちくんは、10年後のカレンダーが作れないかと考えました。10年後の1月1日の曜日を見つけてからカレンダーを作ろうと思います。 <u>上のくきまり>を使って、10年後の1月1日の曜日をもとめましょう。</u> ただし、1年は365日ですが、4年に1回は366日（うるう年）になります。 例えば、2020年は366日、2021年は365日です。					月 (あまり6)	火 (あまり0)	水 (あまり1)	木 (あまり2)	金 (あまり3)	土 (あまり4)	日 (あまり5)			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月 (あまり6)	火 (あまり0)	水 (あまり1)	木 (あまり2)	金 (あまり3)	土 (あまり4)	日 (あまり5)																											
		1	2	3	4	5																											
6	7	8	9	10	11	12																											
13	14	15	16	17	18	19																											
課題の説明	わたしたちのくらしにカレンダー（日付）は欠かせないものです。始業式や入学式、卒業式も夏休みもカレンダー（日付）と関係しています。 そんなカレンダーも、未来がわかるとべん利なこともあると思いませんか。例えば、自分の卒業式は何曜日かな。成人式は1月の第2月曜日だけど何日かなというように...。実はこれには算数（たし算やわり算）が大きく関係しています。日付を7でわると出てくる0から6までのあまりに注目し、課題にちょう戦してみましょう。																																
ヒント	ステップ1 まずは、2月1日が何曜日になるかを考えてみよう。1月は31日までであるから、2月1日は、$1 + 31 = 32$ ですね。32のあまりはいくらかな。 ステップ2 2月1日の曜日をもとめることができたなら、次は、1年後（2020年は365日）の1月1日の曜日をもとめてみよう。 ステップ3 1年は365日ですが、4年に1回366日（うるう年）になります。10年後の2030年までにうるう年が何回あるか考えてみましょう。																																

対象学年	小 4	教科	算数	難易度	★★★★
単元	1 けたでわるわり算の筆算				
課題	4年生のみなさんは、10年後に20さいになり成人式をむかえます。20さいのたん生日が何曜日なのかを（★★★★の課題）の考え方を使ってもとめてみましょう。 また、どのようにしてもとめたのか説明をしましょう。				
課題の説明	（★★★★の課題）の考え方を使って、成人をむかえる10年後の自分のたん生日が何曜日なのかを調べてみましょう。自分のたん生日以外にも、家族や友達のたん生日、こどもの日などの祝日の曜日も調べてみよう。 カレンダーにきょう味が出てきましたか。カレンダーには、まだまだいろいろなきまりやふしぎがあります。他にもどんなきまりがあるのか探してみよう。				
ヒント	ステップ1 まずは、2020年1月1日を元にして、2020年（2021年）のたん生日をもとめましょう。このとき、1、3、5、7、8、10、12月は31日、4、6、9、11月は30日に注意しよう。 ステップ2 たん生日の曜日が分かったら、その日から10年後を数えてみよう。ただし、4年に1回は366日になるので気を付けよう。 これ以外にも、考え方はあります。 最初に10年後の1月1日をもとめてから、その年の自分のたん生日もとめることもできます。どちらの場合も、7でわったあまりの数を調べることで曜日が分かります。 どのようにもとめたのか、順序よく考え方をせい理して説明しましょう。				